

## 横田基地の働く車 Yokota working vehicle showcase

July 6, 2016

Original text by Airman 1st Class Elizabeth Baker  
374th Airlift Wing Public Affairs

横田基地の空輸任務は、地上で働く車両なしに担うことはできない。横田基地には、排水管を清掃するものから、貨物を積むもの、消火するものに至るまで、形、サイズ、機能が異なるさまざまな特殊車両が配備されている。

本文では、ハイテクでよく働く横田基地の60Kターナー、ストライカー3000、10K全地形型フォークリフト、ハンビーの4つの車両を紹介したい。

### 60Kターナー

第730航空機動中隊航空貨物エンジニアのジョン・トーマス・デニス一等空兵は「Kローダーなしに、空輸は担えない」と話す。60Kターナーは、航空貨物の積み下ろしをする横田基地最大のKローダーだ。貨物のプラットフォームの高さを水圧で最大5.6メートルまで上げることができ、27トンもの貨物を積載することができる。

デニス一等空兵は、同中隊のKローダーを運転・操作している。「Kローダーの操作は、仕事の中でも好きな仕事。特にKローダーを上にあげてKC-10輸送機につける作業はとてもやりがいを感じる」と話す。

彼の主な任務は軍人とその家族の異動に伴う貨物を運ぶことだが、派遣航空機の修理など、他のさまざまな重要な業務も担っている。

### ストライカー3000

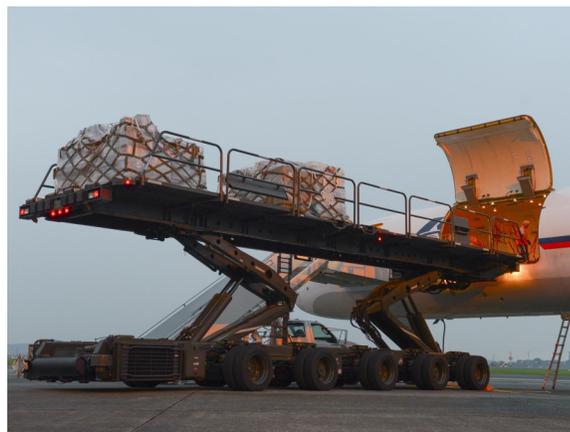
ストライカー3000は、新しく導入された横田の消防車。高度な自動操縦機能が付き、主に航空機火災に対応するのに適した車両だ。

第374施設中隊の旧モデルの消防車とは異なり、ストライカー3000は運転手一人だけで操縦が可能だ。炎上する航空機の外壁に突き刺し、機内に直接消火剤などを噴射するノズルを備えている。車体の大きさは旧モデルの2倍で、さらに約22.8メートル伸びるよう改良され、最長228メートル先まで届く。また、水、泡とパープルK粉末消火薬剤、乾燥化学製品の3種類の消防材を分散させることができ、最大1万2491リットルの水を蓄えることができる。

「とてもいい車両だ。単独で消火活動ができ、人の命を救える素晴らしい力を持っている。初めて実際に運転した時は、幼い子供たちを招いて運転席に座らせた時に見るような同じ喜びを感じた」と第374施設中隊の消防士トーマス・スミス一等空兵は語る。

### 10K全地形型フォークリフト

フォークリフトは、飛行場、工事現場、物資投下地帯など、さまざまな場所で使用され、横田基地の運用において重要な役目を果たしている。第374装備即応中隊は、それを大型車両の輸送、4.5トンもの航空機の部品、基地



ボーイング757から貨物パレットを積む60Kターナー



新たに導入された横田基地の消防車ストライカー3000  
航空機火災に対応し、機体に突き刺すことができる消火用ノズルがついているのが特徴



10K全地形型フォークリフト  
航空機の部品を載せたパレットなどの重い貨物を運ぶ

中のバレルや容器等の積み下ろしに使用している。

第374装備即応中隊車両オペレーター・運行管理官の空兵ジャレン・ジョンソンは「操縦席はすごく揺れ、まるで首振り人形のようになる」と話す。

10Kはよく揺れることから時に操作が難しいが、横田基地内の至る場所にフォークリフトが見られることからその活躍を見ることができると話した。「重機を操縦でき、それ無しには持ち上げられないものを持ち上げられるのだからやりがいは大きい」とジョンソンは話した。

## ハンビー

高機動多用途装輪車両は一般に略してHMMWV(ハンビー)と呼ばれている。ハンビーは、全地形型で軽装甲車にしたてられた車両だ。1979年にアメリカ軍がそれまでに使用していたトラックを、多機能の軽戦略車両使用に開発した。

第374施設中隊で水・燃料システム管理エンジニアとして働くアレキサンダー・ラブ・ガウント一等空兵は、横田基地内でハンビーを運転していると、多くの人の目を集めるという。ハンビーがアメリカ軍のシンボルとも言える圧倒的な存在感を持っているからだ。「軍関係者もそうでない人も、興味深そうな目で見る」とガウント一等空兵は言う。

第374施設中隊は大きな器材を牽引するためにこの車両を使い、第374装備即応中隊などの他の部隊では、遠く離れた投下地帯のような起伏多い地上を進むような時などにそれを使う、とガウント一等空兵は説明した。

最後に

インド-アジア太平洋地域の主な空輸の軸として役目を担う第374空輸航空団は、使命遂行のために多様な任務を担っている。さまざまな形やサイズの車両が、任務をスムーズに遂行させる助けとなり、より効率よく達成するための力となっている。



施設中隊と装備即応中隊で使用されているハンビー  
重い車両を牽引したり、起伏の多いオフロードの投下地帯でパ  
ラシュートを回収する時などに使用される